

公約達成状況

公約達成数 14 / 53 公約着手率 91% [詳細はこちら]

公約実現のため市役所組織の経営戦略“市長戦略”を策定。



Hirokage Murata

	公約	今年度実績	来年度目標
財政改革	駅西区画整理事業の再検討	着手	継続を決定。費用便益分析を実施し工期を延長。 歳入増加を目指し、商業施設誘致を継続。
	公共施設の統廃合の推進	着手	幼児施設をはじめ全方向的に公共施設の再編に着手。 公共施設経営課を新設。引き続き強力に推進。
	企業版ふるさと納税の推進	達成	企業誘致のトップセールスに併せて協力を依頼。 使途を拡大し、引き続きトップセールス。
	積極的な企業誘致	達成	工業団地への大手メーカー誘致を実現。 涉外課によるワンストップ支援体制を強化。
	地元企業への支援の拡充	着手	中小企業振興推進会議を開催。要望を受領。 推進会議をはじめ、地元企業との連携を強化。
	新美化センター建設に係るコストの縮減	着手	民間活力を活かした施設整備を決定。検討を開始。 ロードマップ等を策定し方針を明確化。
	財政負担の少ない汚水処理システムの導入	着手	費用対効果を再考しアクションプランを更新。 アクションプランに基づき整備を推進。
	任命理由を明確化した副市長の登用	達成	行政経験及び民間経験のある副市長を選任。 副市長と連携して公約実現に邁進。
市役所人事・組織・行政改革	企業誘致課の設置	達成	涉外課を新設。ワンストップ支援体制を構築。 体制を強化し、企業誘致と企業留置に全力。
	定住人口增加増進係の強化	達成	戦略推進課内に移住担当を配置。 情報発信課に移管し、広報担当との連携を強化。
	民間人材の登用	達成	公園整備に外部アドバイザー活用。地域おこし協力隊の検討も。 引き続き重点施策の遂行に外部人材を活用。
	市民対応 110 番の設置	達成	設置済み。市民からの通報にワンストップ対応。 運用を改善し、満足度向上へ。
	ICT 活用のための職場整備	達成	ネットワーク無線化や端末更改などを実施。 環境をフル活用し、市役所組織の業務改革を推進。
	市民目線に立った組織風土の改善	着手	日本一市民目線の市役所を合言葉に組織改革。 市民に寄り添う姿勢を目指し、研修などを強化。
	新裾野 IC の開設	着手	具体的な検討に着手。 適地調査を実施。
社会基盤整備・道路	仙石原新田線の拡幅	着手	市長会や県に要望し、最終工区への着手が決定。 未改修区間 2km の拡幅に向けて要望活動を継続。
	道の駅の整備	着手	構想策定に向けた仕様書策定などに着手。 基本構想を策定。
	交通ハブの創出	着手	裾野市地域公共交通計画を策定。 道の駅整備と併せて交通ハブの具体的役割を検討。
	裾野駅周辺の駐車場整備	着手	具体的な検討に着手。 区画整理事業実施の中で引き続き検討。
	岩波駅周辺の駐車場整備	着手	岩波駅周辺地区まちづくり基本計画を策定。 計画に基づき駐車場整備を推進。
子育て・教育	子ども医療費助成の完全無料化	今後	完全無料化を実現するため、財政健全化を推進。 財政健全化の状況と併せて今後検討。
	認定こども園化の推進	着手	市営プール跡地への民間こども園誘致を決定。 誘致を継続。他のこども園の再編検討にも着手。
	小中学校入学準備の保護者負担の削減	達成	子ども 1 人あたり 15000 円の市独自給付を実現。 更なる負担軽減に向けた具体策を適宜検討。
	放課後児童室利用料の低減	今後	利用料低減を実現するため、財政健全化を推進。 財政健全化の状況と併せて今後検討。

	公約	今年度実績	来年度目標
障がい者福祉	市税の減額・猶予措置	達成	法令に基づき市税の減額及び猶予措置を実施。 今後も突発的な経済不況などに併せて実施を検討。
	がん検診・ピロリ菌検診・歯科検診の無償化	着手	ピロリ菌検診の実施等について検討。 財政健全化の状況と併せて今後検討。
	障がい者基幹型支援センターの開設	達成	市内社会福祉法人の協力により開設が決定。 安定した運用を推進。
	オンライン相談室の設置	達成	子育て世帯向けのオンライン医療相談を開始。 オンライン医療相談を継続。
高齢者・介護	地域包括支援システムの構築の推進	着手	地域ケア会議や地域調整会議を実施。 引き続き高齢者にも住みやすいまちづくりを推進。
	多床室の特別養護老人ホームの整備	着手	現状分析など計画改訂に向けた準備を実施。 第 9 期介護保険事業計画を策定。
	パークゴルフ場の整備	着手	整備場所の検討に着手。 みどりと公園課を新設。検討を継続。
	免許返納後の高齢者向けの補助金創設	今後	裾野市地域公共交通計画を策定。 財政健全化の状況と併せて今後検討。
	高齢者の ICT 利活用の推進	着手	他市の事例を調査。庁内のデジタル化を推進。 デジタル部を新設。具体的な事業を検討。
	バス・タクシー利用時の補助の充実化	今後	裾野市地域公共交通計画を策定。 財政健全化の状況と併せて今後検討。
防災・防犯・市民安全	通学路・散歩コースの安全総点検の実施	着手	安全点検を実施。大手損害保険会社と連携し調査。 調査を継続。市内防犯灯整備を加速し安全対策。
	高齢者・児童の見守りシステムの構築	着手	事業者へのヒアリングなど調査に着手。 引き続き調査を実施。
	市職員の防災士資格取得の推進	達成	近隣市町との防災指導者育成講座に職員を派遣。 引き続き防災士資格取得や防災指導者育成を実施。
	公共施設への空調システム整備の推進	着手	事業者へのヒアリングなど調査に着手。 引き続き調査を実施。
	河川周辺の整備	着手	区要に基づき河川整備を実施。 引き続き河川や景観の整備を実施。
人産業増加・農業誘致	急傾斜地危険区域の斜面の崩落・滑落の防止	着手	市内パトロールや区要に基づく対応を実施。 引き続き対応を実施。
	商業施設の誘致のための都市計画の見直し	着手	都市計画道路平松深良線稲荷工区の整備を決定。 市街化調整区域活用のための基本方針策定に着手。
	新技術産業の誘致	着手	トップセールスを実施。 トップセールスを継続。
	企業誘致のための税制改正	着手	先進自治体の事例を調査。 企業誘致に併せて税制改正を実施できるよう準備。
	スマート農業の推進	今後	農業委員会などでデジタル化の必要性を周知。 6 次産業化の推進と併せて実施を検討。
移滞動緩和・公共交通	6 次産業化の推進	着手	地域戦略作物の活用について関係者と意見交換。 いちごの生産推進に向けた具体的な施策を検討。
	自動運転などを活用した公共交通網の整備	着手	富士山南東スマートフォンティア推進協議会参画。 同協議会の取り組みに参画。市独自施策も検討。
	三島駅との交通強化	着手	富士山南東スマートフォンティア推進協議会参画。 同協議会との連携を通じて具体策を検討。
	渋滞解消に向けた取り組み	着手	国や県の関係者への要望活動を実施。 要望活動を継続。
	御殿場線の輸送力向上	着手	御殿場線利活用推進協議会などを通じて要望活。 要望活動を継続。
ICT の活用	右左折レーンの整備	着手	国や県の関係者への要望活動を実施。 要望活動を継続。
	オンライン申請の充実化	着手	転出届など対象手続きを拡大。 デジタル部を新設。全方向的推進を強化。
	公共施設へのスマートロックの導入	着手	事業者へのヒアリングなど調査に着手。 引き続き調査を実施。
	市政運営への参加意識の醸成	達成	地域に飛び出す市長室やデジタル目安箱を開始。 市民に寄り添い、行政サービスを継続的に改善。